



【目指す児童像】
考える子 健康な子
親切な子 がんばる子

いずみ

2026.2.27
ひたちなか市立
中根小学校
学校だより No.11



児童数（1年生:53名 2年生:50名 3年生:55名 4年生:46名 5年生:52名 6年生:62名）計318名

ミラノ・コルティナでの冬期オリンピックが閉幕しました。今回の大会では、日本人選手がめざましい活躍を見せてくれました。私が印象に残ったことは2つあります。1つ目は、特にメダリストの競技後のインタビューで、「私一人の力でメダルを獲ったのではない。」「支えてくださった皆さんに感謝したい。」といった言葉が多く聞かれたことです。2つ目は、個人競技であっても、チームや仲間として支え合いながら競技に臨む様子が多く見られたことです。オリンピックに出場した選手の皆さんは、非常に大きく力強い「たい・よう」の気持ちをもって競技に臨んだと思います。「たい・よう」を実現するためには、自分一人の力だけではなく、仲間との太い絆が必要だと感じました。

縄跳び週間を実施しました

1月中旬から2月上旬にかけて、縄跳び週間を実施しました。この活動は、「運動量の確保を図る」「短縄や大縄の跳躍回数に挑戦しながら、運動の生活化を図り、体力向上を目指す」ことをねらいとしています。今年は昨年にもまして寒さが厳しい中での活動でしたが、児童は、寒さに負けることなく縄跳びに一生懸命取り組みました。短縄では、一人一人が自分のペースで、できるだけ長い時間連続して跳び続けることや、さまざまな跳び方に挑戦しました。大縄では、お互いに励まし合ったり工夫したりしながら協力し合って跳ぶ姿を見ることができました。



ほしいもづくりをおこないました

第3学年では、9日（月）ほしいもづくりを行いました。前日に大雪が降り、2時間遅れの登校となったため、児童は、登校するとすぐにほしいもづくりに取り組みました。さつまいも作りの専門家の方に、苗を植える段階からご指導をいただき、10月に収穫、そして今回のほしいもづくりまで、継続してご支援いただきました。この学習活動は、「さつまいもを育てる勤労生産的な活動を通して、働く尊さや生産することの喜びを、実感を伴って理解すること」をねらいとして、年度当初から総合的な学習の時間の一環として行ってきました。全ての農作業を児童だけで行うことは難しいため、安さんをはじめ、ときわ会など地域の皆様に多大なご協力をいただき、ここまで進めることができました。この学習は、本校のグランドデザインに掲げる「地域の子どもは地域で育てる」を具現化する取組の一つです。児童は、地域の方々に見守られながら、全国的に有名なひたちなか産のさつまいもの品種やそれぞれの特徴、育てる大変さを少しずつ学習していきました。数日間音楽室で乾燥させて出来上がったほしいもを児童は満足そうに持ち帰りました。



第4回学校運営協議会を開催しました

5日（木）に第4回学校運営協議会を開催しました。学校運営協議会とは、

学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組むことが可能となる「地域とともにある学校」への転換を図るための有効な仕組みのことです。そのため、学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めることができます。今回の会議では、第2回学校評価アンケートの結果をもとに、今後の学校運営について熟議を行いました。主に、学校にも近所の方々にも相談できないような保護者の皆様が抱える、相談先を見いだせない不安に対応するためにはどのように対応していくのがよいのかについて話し合いました。また、子育て支援の在り方などについても意見を交わしました。その後は、委員の皆さんに給食を試食していただきました。日頃、児童が食べている給食が大変おいしいことから、「児童はおいしい給食を食われて幸せですね。」というお言葉をいただきました。

